

2018 年度 事業報告書

法人の名称 NPO 法人ハピタ

1 事業の成果

当法人は、学校と PTA と保護者の活動をサポートする事業を行い、地域全体で子育てする社会を作ることによって子育てママの負担を軽減し、少子高齢化が進む日本の社会課題の解決を目指す。

初年度（2018 年度）は特定の学校/PTA（東京農業大学第一高等学校・同中等部の教育後援会）と組み、いまだに紙の配布物や手作業の集計が多い PTA 活動のデジタル化を進めた。アカウント登録、お知らせ、イベント、ファイル共有の 4 つの機能を実装した WEB 版デジタルツールのパイロット版を作成。11 月から学校の本部役員 12 人に試用してもらい、改善点を抽出。3 月にバージョンアップしたものを再リリースした。4 月以降は本部役員と学校、さらに全クラス委員 90 人を加えた約 100 人に向け、本格的に運用を開始していく。

また、PTA 代行に対する理解を得ていく活動も開始。川崎市内の学校や地域、PTA への普及活動を進めながら、PTA 代行事業の準備に取り組んだ。

2 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

① 学校/PTA/保護者の活動をサポートするデジタルツール事業

ア デジタルツール事業

- ・内 容 特定の学校/PTA と組み、PTA 活動をサポートするデジタルツールを作成し、運用しながら改善を重ねた。初年度はアカウント登録、お知らせ、イベント、ファイル共有機能を実装した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 東京都、神奈川県
- ・従事者人員 10 人
- ・対 象 者 東京農業大学第一高等学校・同中等部の教育後援会約 100 人
- ・費 用 額 503,876 円

② PTA 代行事業

ア PTA 代行事業

- ・内 容 保護者の代わりに PTA 活動を担ってくれる人を地域の中で見つけられるサービスを提供する準備として、学校や地域に PTA 代行に対する理解を得る努力を重ねた。
地域の中で子育てに貢献したい高齢者や大学生、OB ママたちをマッチングさせる機能を提供することによって、WIN-WIN の関係構築を目指す。
- ・日 時 通年
- ・場 所 学校が所属する地域
- ・従事者人員 10 人
- ・対 象 者 学校が所属する地域の住民 初年度は 0 人
- ・費 用 額 0 円